

持続可能な開発のための教育について考える

ACCUは、2016年3月に文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会より発行された「ESD推進の手引」を活用し、①**教育の質を高めるためのESDの役割を広く推進すること**、②**ESDを伝えることのできるファシリテーターをサポートすること**を目的とした研修会を以下の通り実施いたします。

開催日時 2017年12月26日（火）10:30-16:00（開場 10:00）

開催場所 ウィンクあいち 1104会議室（愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

対象者 教育委員会指導主事や学校管理職の方々を対象とした手引を活用した研修会ではありますが、ESDにご関心のある全ての方々を対象としております。参加費は無料です。

申込方法 下記URLより申し込みフォームの記入をお願いいたします。
(<https://ws.formzu.net/fgen/S31015966/>)



←こちらからもお申し込み可能です。

本件お問い合わせ先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター
TEL 03-3269-4559 Eメール webmaster@accu.or.jp
担当 教育協力部 篠田真穂

主催： 文部科学省、公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）
共催： 愛知県教育委員会
後援： ESDコンソーシアム愛知、中部大学、愛知教育大学（申請中）



ESDは、Education for Sustainable Developmentの略で、「持続可能な開発のための教育」のことです。ESDは地域や世界の持続可能な未来の構築のために学び、アクションを起こしていく活動です。

タイムスケジュール

午前の部: ESDのこれまでとこれから 10:30-12:00

- 「ESD推進の手引」を活用しながら、ESDの理論を講義形式でお伝えいたします。
ESDを軸にした教育活動とはどのようなものなのか知りたい方に参加をお勧めいたします。

時間	内容	登壇者
10:30	開会の挨拶	未定
10:35	趣旨説明	ACCU
10:45	『ESDの手引き』をどう活用するか？	広島市立大学 准教授 ト部匡司
12:00	昼食休憩	

午後の部: 実践を通して考えるESD 13:00-16:00

- ESDの実践をあらゆる視点から知っていただく研修構成となっております。他校ではどのような活動をし、どこから着想を得ているのか知る時間となっております。
ESDの研修方法やESDの実践についてより理解を深めていきたい方に参加をお勧めいたします。

時間	内容	登壇者
13:00	ESDを学びの中心において～ユネスコスクール活動紹介～	箕面こどもの森学園 教諭 高原麗奈
13:30	<ワークショップ> 校内にESDを浸透させるためには（仮）	多摩市立連光寺小学校 校長 棚橋乾
15:15	会場全体で考える～ESDを展開していくために必要なこと～ 【パネラー】 ・ 広島市立大学 准教授 ト部匡司 ・ 多摩市立連光寺小学校 校長 棚橋乾 ・ 箕面こどもの森学園 教諭 高原麗奈	モデレーター：ACCU
15:45	閉会の挨拶、アンケート記入	未定

講師のご紹介



広島市立大学 准教授 ト部匡司

昭和51（1976）年生まれ。広島大学大学院教育学研究科博士課程後期修了／博士（教育学）。広島大学大学院教育学研究科教育学講座助教、徳山大学経済学部准教授を経て、広島市立大学国際学部准教授。専門は比較国際教育学。



多摩市立連光寺小学校 校長 棚橋 乾

全国小中学校環境教育研究会元会長。ESD円卓会議委員。環境省中央環境審議会委員、東京都公立中学校で教諭として環境教育を実践し、自然、生き物、エネルギー、ゴミ、循環等を理科の授業や総合的な学習の時間で指導。多摩市立中学校教頭、同小学校長を経て、現職。ESDの視点を活かし教育課程全体で、持続可能な社会づくりに向けた意欲と能力・態度を高めることの研究と実践を続けている。



箕面こどもの森学園 教諭 高原麗奈

大学卒業後、精密機器会社で6年間の営業職を経験。退職後にイギリスの大学院へ留学。2012年にロンドン大学教育研究所で比較教育学専攻修士課程修了。2013年よりNPO法人箕面こどもの森学園に携わり、現在は2015年に新規開設した同学園の中学部を担当している。

交通アクセス

■ 電車でお越しの方

- （JR・地下鉄・名鉄・近鉄）名古屋駅より
- ◎ JR名古屋駅桜通口から ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
- ◎ ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

■ 車でお越しの方（施設内駐車場有）

名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約6分
駐車場…収容台数123台



UNESCO Global Action Programme on
Education for Sustainable Development

